

名古屋国際会議場

大規模改修工事進捗状況のお知らせ

令和8年1月 Vol.5

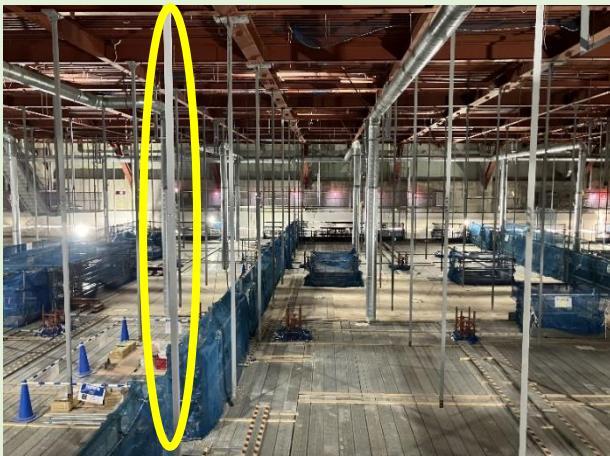


名古屋国際会議場は令和7年2月から令和9年3月末まで閉場し、大規模改修工事を実施しております。場内の改修工事の令和7年12月時点の進捗状況をお知らせしてまいります。

イベントホール



1号館1階のイベントホール改修状況の写真です。天井内の鉄骨と設備配管の取り付けを行っております。茶色の足場は昇降式の足場です。天井の解体から新設まで8回昇降し、ホールの天井を完成させる予定です。



天井内鉄骨工事・設備工事状況
(黄色の○部分が新たな鉄骨です)



下から見た昇降式足場
(黄色の○が昇降式足場です)

外装タイル壁補修



国際会議場の外壁の大部分を占めるタイル壁の補修を行っています。様々な工法がある中、アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法を紹介します。この工法はタイルの浮きを補修するもので、写真のようにタイルに穴をあけ、樹脂を注入しピンを差し込むことでタイルの浮きをなくしていきます。

既存のタイル壁の状態を一つ一つ調べながら、その状態に最適な工法で改修工事を進めています。

オアシス広場



国際会議場の敷地南側に位置するオアシス広場は緑が多く憩いの場となっていました。「アコウの木」(写真左) や「創造の柱」(写真右) は世界デザイン博覧会時からその場所にあります。アコウの木は温暖な地域に生息する木のため、囲いをし、冬支度を行いました。「創造の柱」は劣化調査のため足場をかけ高所作業車等を使用し作業を行っています。

